

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

2-クロロ塩化ベンジルのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

### 試験番号

第 1 0 0 4 4 号

### 試験方法

本試験はOECD化学品テストガイドライン 203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：2-クロロ塩化ベンジル
- 2) 曝露方法：流水式（定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用）
- 3) 曝露期間：96時間
- 4) 連 数：1濃度区 1連
- 5) 供 試 魚：ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 6) 供試魚数：10尾／濃度区
- 7) 試験水量：約9 l
- 8) 流量及び換水率：50 ml／分，約8回／日
- 9) 試験水温：24±2℃
- 10) 照 明：室内光，16時間明／8時間暗
- 11) 給 餌：無給餌
- 12) エアレーション：無し
- 13) 試験濃度：対照区，助剤対照区，0.10，0.18，0.32，0.56及び1.0 mg/l
- 14) 試験水中の被験物質の分析：ガスクロマトグラフ法（曝露開始時及び48時間後）

### 結 果

下記の結果は設定濃度より算出した。

- 1) 半数致死濃度 (LC<sub>50</sub>)  
LC<sub>50</sub>(96hr)：0.27 mg/l (Binominal法)
- 2) 0 %死亡最高濃度(96hr)：0.18 mg/l
- 3) 100 %死亡最低濃度(96hr)：0.56 mg/l